

履歴書

2024年11月現在

氏名：久野秀二

生年月日：1968（昭和43）年6月16日

本籍地：東京都

現住所：京都市

学歴

- 1987年3月 筑波大学附属駒場高等学校卒業
- 1987年4月 京都大学経済学部（経済学科）入学
- 1991年3月 同上卒業
- 1991年4月 京都大学大学院経済学研究科修士課程（経済政策学専攻）入学
- 1993年3月 同上修了
- 1993年4月 京都大学大学院経済学研究科博士後期課程（経済政策学専攻）進学
- 1995年6月 同上中退
- 2001年9月 北海道大学 論文博士学位（農学）取得

職歴

- 1991年6月 京都府農業会議調査員（～1995年4月）
- 1995年4月 日本学術振興会特別研究員 DC（～1995年6月）
- 1995年7月 北海道大学大学院農学研究科農業経済学講座助手（～2005年3月）
- 1999年10月 酪農学園大学非常勤講師（～2002年3月）
- 2002年7月 日本学術振興会海外特別研究員（オランダ・Wageningen University, Department of Social Sciences, visiting fellow ～2004年9月）
- 2005年3月 京都大学大学院経済学研究科准教授（～2010年11月）
- 2010年12月 現職（現在に至る）
- 2012年4月 オランダ・VU University Amsterdam, Faculty of Social Sciences, Department of Political Science, visiting researcher（～2012年8月）

担当授業科目（*は現在提供中）

- 京都大学：【学部】農業経済論*、国際農政論*、社会経済学古典研究、演習*、経済英語、【大学院】国際農業分析、政策論基礎、International Political Economy of Agriculture*／International Agribusiness Studies*、Field Research in Japan、On-site Research Training*、Comparative Industry Policy Studies、Critical Consumption Studies*、Comparative Development Studies*、Inclusive Rural Development*、Field Research in East Asia*/Europe*、【その他】農業

政策論（公共政策大学院）、日本事情 A（日研プログラム）

- 北海道大学：【学部】経済原論、外国書講読、演習、農村調査実習、【大学院】農業市場学
- 酪農学園大学：【学部】アグリビジネス論、食品産業論

取得学位

- 1995年3月 修士（京都大学、経済学・経済政策）
- 2001年9月 博士（北海道大学、農学・農業経済）

所属学会

- International Sociology Association
 - RC40 (Sociology of Food and Agriculture)
 - RC23 (Sociology of Science and Technology)
 - RC24 (Sociology of Environment)
- European Society of Agriculture and Food Ethics
- Rural Sociology Society
- 日本農業経済学会
- 日本農業市場学会
- 政治経済・経済史学会（旧土地制度史学会）
- 農業問題研究学会
- 地域農林経済学会
- 国際開発学会
- 日本科学者会議
- その他（non-membership）
 - International Studies Association
 - Asia-Pacific Society of Agriculture and Food Ethics
 - Interpretive Policy Analysis

賞罰

- 1999年4月 日本農業市場学会奨励賞「農業技術の高度化と農薬市場の再編」
- 2003年4月 日本農業経済学会賞「アグリビジネスと遺伝子組換え作物」
- 2004年11月 財団法人農学会日本農学進歩賞「バイオテクノロジーの研究開発と商品化に関する政治経済学的研究」

現在の主要な研究テーマ

- 多国籍アグリビジネスの CSR イニシアチブ、社会・環境基準を組み入れたフードシステムに関する事例研究と市民社会組織の対抗運動に関する農業社会学的研究
- 国連農業食料ガバナンスと多国籍企業行動規範に関する政治経済学的研究
- 食料安全保障をめぐる国際機関の対応と食料主権をめぐるグローバルな市民社会運動に関する言説分析ないし政策過程分析
- オランダ農業をめぐる二つの対抗する言説と実践に関する（日本を意識した）国際比較研究
- 都市圏における市民的食農システムの可能性と新型コロナ禍等の外的ショックへの対応力
- 農業科学技術（バイオテクノロジー）と農業生産力発展の評価に関する農業経済学および農業倫理学的研究

研究業績

A. 著書 (単著/共編著)

1. 辻村英之・久野秀二・坂梨健太責任編集『海を越えてくる食べ物の裏側 — 食料調達におけるSDGs とは』(『季刊 農業と経済』2024 年春号)、英明企画編集
2. 小林国治・久野秀二・秋津元輝責任編集『深く知りたいあなたへの北海道ガイド — 生産の大地 + 暮らしの大地へ』(『季刊 農業と経済』2023 年秋号)、英明企画編集
3. 久野秀二・池上甲一・西山未真責任編集『現代社会と食の多面的機能 — 食から眺める、食から変える』(『季刊 農業と経済』2022 年秋号)、英明企画編集
4. 秋津元輝・池上甲一・久野秀二責任編集『食と農 (いのち) の世界をたてなおす — 政策と実践と知の総合化』(『季刊 農業と経済』2021 年夏号)、英明企画編集
5. Ruivenkamp G., Hisano S., and Jongerden J., eds., *Reconstructing Biotechnologies: Critical Social Analyses*. Wageningen Academic Publishers, 2008.
6. 久野秀二『アグリビジネスと遺伝子組換え作物 — 政治経済学アプローチ』日本経済評論社、2002 年、370 頁

B. 著書 (分担執筆)

1. 久野秀二「農業資材産業とグローバル資本による市場・技術・資源・規範の包摂」、松原豊彦・冬木勝仁編『世界農業市場の変動と転換』(講座 これからの食料・農業市場学 1) 筑波書房、第 2 章: 46-79 頁、2023 年 5 月。
2. 久野秀二「植物遺伝資源と種子ビジネス」、冬木勝仁・岩佐和幸・関根佳恵編『アグリビジネスと現代社会』筑波書房、第 12 章: 201-218 頁、2021 年 9 月。
3. 久野秀二「世界食料安全保障の政治経済学」、田代洋一・田畑保編『食料・農業・農村の政策課題』筑波書房、第 3 章: 83-127 頁、2019 年 12 月。
4. Ke Jinghan and Hisano S., "A Study on Peasants' Behavior and Peasants' Niche in Contemporary China's Agri-food Supply System: Evidence from Henan province". In: L. Augustin-Jean and J-P. Poulain eds., *Risk and Food Safety in China and Japan. Theoretical Perspectives and Empirical Insights*, Chapter 8: 153-180, Routledge, 2018.
5. 久野秀二「多国籍アグリビジネス — 農業・食料・種子の支配」、梶瀧俊子・谷口吉光・立川雅司編著『食と農の社会学 — 生命と地域の視点から』ミネルヴァ書房、第 2 章: 41-67 頁、2014 年
6. Ni Hui and Hisano S., "Development of Contract Farming in Chinese Sericulture and the Silk Industry". In: Louis Augustin-Jean and Bjorn Alpermann eds., *The Political Economy of Agro-Food Markets in China: The Social Construction of the Markets in an Era of Globalization*, Chapter 9: 236-256, Palgrave Macmillan, 2013.
7. 久野秀二「世界食料市場のフード・ポリティクス」、池上甲一・原山浩介編『食と農のいま』ナカニシヤ出版、第 3 章: 58-75 頁、2011 年 6 月
8. 久野秀二「GMO をめぐるポリティクス」、池上甲一・原山浩介編『食と農のいま』ナカニシヤ出版、第 4 章: 81-98 頁、2011 年 6 月

9. 久野秀二「国連『食料への権利』論と国際人権レジームの可能性」、村田武編『食料主権のグランドデザイン』農文協、第5章：161-206頁、2011年2月
10. 久野秀二「多国籍アグリビジネスの事業展開と農業・食料包摂の今日的構造」、農業問題研究会編『グローバル資本主義と農業』筑波書房、第3章：81-127頁 2008年
11. Hisano S., 'Ethicisation of Biotechnology, Politicisation of Biotechnology Ethics'. In: Ruivenkamp G., Hisano S., and Jongerden J., eds., *Reconstructing Biotechnologies: Critical Social Analyses*, pp.165-182, Wageningen Academic Publishers, 2008. *
12. Hisano S. and Altoé S.M., 'Brazilian Farmers at a Crossroads: Biotech Industrialization of Agriculture or New Alternatives for Family Farmers?' In: Otero G. ed., *Food for the Few: Neoliberal Globalism and Agricultural Biotechnology in Latin America*. Chapter 10: 243-265, University of Texas Press, 2008.
13. Jordan S., Hisano S., and Iizawa R., 'Conventionalization in the Australian Organic Industry: A Case Study of the Darling Downs Region'. In: Holt G.C. and Reed M. eds. *Sociological Perspectives of Organic Agriculture: From Pioneer to Policy*. Chapter 9: 142-156, CABI, 2006.
14. 久野秀二「世界の食料問題と遺伝子組換え作物」、223-250頁、大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』有斐閣、2004年
15. Hisano S., 'Political Economy and Sociology of Agricultural Biotechnology', Nakamura M. and Lee K.J eds., *Technology Innovation and Its Relations to Humanities and Social Sciences*, pp.45-55, Hokkaido University Press, 2003
16. 久野秀二「国際農業・食料システムの再構築と農業科学技術」、69-102頁、中野一新・杉山道雄編『グローバリゼーションと国際農業市場』筑波書房、2001年
17. 久野秀二「遺伝子組換え作物・食品の安全性 — 世界の動向から学ぶ」、125-174頁、日本農業市場学会編『食品の安全性と品質表示』筑波書房、2001年
18. 久野秀二「マルクス経済学と現代資本主義」、207-227頁、太田原高昭ほか編『農業経済学への招待』日本経済評論社、1999年
19. 久野秀二「アメリカにおける農業資材産業の展開とバイオテクノロジー」、55-71頁、中野一新編『アグリビジネス論』有斐閣、1998年
20. 久野秀二「環境問題と史的唯物論」、261-295頁、鯉坂真・中田進編『現代に挑む唯物論』学習の友社、1996年

C. 学術論文 (紀要論文を含む)

1. Kimura A. H. and Hisano S., "Ethics and Aesthetics of Alternative Protein in Japan". *Back to the Future: Sustainable Innovations for Ethical Food Production and Consumption (EurSafe2024 Proceedings)*, Wageningen Academic, pp.99-105, September 2024. https://doi.org/10.1163/9789004715509_016
2. 久野秀二「食農システムの転換をめざすヨーロッパ諸都市(9) アーネム (オランダ)」『季刊 農業と経済』90巻3号 (2024年夏号)：182-200頁、2024年8月。
3. 久野秀二「責任ある持続可能な食料調達をめぐる国際動向 — 食料輸入依存国・日本で食料主権を考える」『季刊 農業と経済』90巻2号 (2024年春号)：11-28頁、2024年5月。
4. 久野秀二「座長解題：国際シンポジウム「批判的農業食料問題研究の国際動向 — フードレジ-

- ム論およびワーヘニンゲン農村社会学との対話』『農業問題研究』55 巻 1 号：1-7 頁、2024 年 3 月。
5. 久野秀二「食農システムの転換をめざすヨーロッパ諸都市(8) ローマ (イタリア)」『季刊 農業と経済』89 巻 4 号 (2023 年秋号)：206-227 頁、2023 年 11 月。
 6. 久野秀二「フードテックは「未来の食」に貢献できるのでしょうか？植物肉と培養肉を事例に」『季刊 農業と経済』89 巻 3 号 (2023 年夏号)：56-73 頁、2023 年 8 月。
 7. 久野秀二「食農システムの転換をめざすヨーロッパ諸都市(7) エーデ (オランダ)」『季刊 農業と経済』89 巻 2 号 (2023 年春号)：222-237 頁、2023 年 5 月。
 8. Hisano, S. "Transformation towards Sustainable Agri-Food Systems: Tangled Confrontations between Global Hegemony and Alternative Initiatives". *Japanese Journal of Agricultural Economics*. Vol. 25, pp. 2-4, March 2023. https://doi.org/10.18480/jjae.25.0_2
 9. Ynacay-Nye A., Hisano S., Suryawan A. S., "Alternatives to sustainable seafood certifications: Transitions of small-scale fisheries governance in northeastern Japan". *Journal of Rural Studies*. Vol.97, pp.269-280, January 2023. <https://doi.org/10.1016/j.jrurstud.2022.12.002>
 10. 久野秀二「「健康的で持続可能な食事」の政治経済学 — 健康と環境と社会をつなぐ政策に向けて」『季刊 農業と経済』88 巻 4 号 (2022 年秋号)：85-101 頁、2022 年 11 月。
 11. 久野秀二「食農システムの転換をめざすヨーロッパ諸都市(6) オランダの社会的市民農園」『季刊 農業と経済』88 巻 4 号 (2022 年秋号)：266-281 頁、2022 年 11 月。
 12. 久野秀二「持続可能な食農システムへの転換 — グローバルヘゲモニーと対抗的实践との相克」『農業経済研究』94 巻 2 号：91-105 頁、2022 年 9 月。
 13. 久野秀二「食農システムの転換をめざすヨーロッパ諸都市(5) ミラノ (イタリア)」『季刊 農業と経済』88 巻 3 号 (2022 年夏号)：178-197 頁、2022 年 8 月。
 14. 久野秀二「食農システムの転換をめざすヨーロッパ諸都市(4) コペンハーゲン (デンマーク)」『季刊 農業と経済』88 巻 2 号 (2022 年春号)：200-212 頁、2022 年 5 月。
 15. Suryawan A. S., Hisano S. and Jongerden J., "Negotiating halal: The role of non-religious concerns in shaping halal standards in Indonesia". *Journal of Rural Studies*. Vol.92, pp.482-491, May 2022. <https://doi.org/10.1016/j.jrurstud.2019.09.013>
 16. Hisano S., "Power Dynamics and Discourses behind Climate Smart Agriculture: Global Context and Contest". *Journal of Rural Problems*, Vol.58, Issue 1, pp.44-51, March 2022. <https://doi.org/10.7310/arfe.58.44>
 17. 久野秀二「食農システムの転換をめざすヨーロッパ諸都市(3) ヘント (ベルギー・フランデレン地域) 後編」『季刊 農業と経済』88 巻 1 号 (2022 年冬号)：224-235 頁、2022 年 2 月。
 18. 久野秀二「食農システムの転換をめざすヨーロッパ諸都市(2) ヘント (ベルギー・フランデレン地域) 前編」『季刊 農業と経済』87 巻 6 号 (2021 年秋号)：248-259 頁、2021 年 11 月。
 19. 久野秀二「持続可能な食農システムへの転換 — 都市の総合的食政策に向けた欧州の挑戦から何を学ぶか」『季刊 農業と経済』87 巻 5 号 (2021 年夏号)：109-123 頁、2021 年 8 月。
 20. 久野秀二「食農システムの転換をめざすヨーロッパ諸都市(1) アムステルダム大都市圏 (オランダ)」『季刊 農業と経済』87 巻 5 号 (2021 年夏号)：278-289 頁、2021 年 8 月。

21. 久野秀二「持続可能な消費と言説的権力 — 『資本による食の包摂』論への一考察」『立命館食科学研究』3: 35-47 頁、2021 年 3 月. <http://doi.org/10.34382/00014663>
22. 久野秀二「市民的食農システムの可能性 — 欧米諸国の経験からポストコロナ時代を展望する」『農業と経済』86(11): 154-167 頁、2020 年 12 月.
23. 久野秀二「オランダにおける多面的機能型農業・市民的食農システムの可能性と課題」『農業・農協問題研究』72: 39-54、2020 年 7 月.
24. 平賀緑、久野秀二「資本主義的食料システムに組み込まれるとき — フードレジーム論から農業・食料の金融化論まで」『国際開発研究』28(1): 19-37、2019 年 6 月.
https://doi.org/10.32204/jids.28.1_19
25. 久野秀二「オランダ農業モデルの多様性 — フードバレーの現実と多面的機能を活かした農業の可能性」『経済論叢』193(2): 1-38、2019 年 4 月. <https://doi.org/10.14989/244629>
26. 久野秀二「農業知財に関するバイオパイラシー問題の潮流と今後の課題」『農業と経済』84(11): 60-78、2018 年 11 月.
27. Hisano S., Akitsu M. and McGreevy S., 'Revitalising Rurality under the Neoliberal Transformation of Agriculture: Experiences of Re-agrarianisation in Japan'. *Journal of Rural Studies*, 61: 290-301, July 2018. <https://doi.org/10.1016/j.jrurstud.2018.01.013>
28. 久野秀二「国際通商交渉をめぐる農業関連業界・多国籍企業の動向」『農業と経済』84(3): 33-45、2018 年 4 月
29. 久野秀二「誰のための主要農作物種子法廃止なのか」『農業と経済』83(10): 121-135、2017 年 10 月
30. 久野秀二「主要農作物種子法廃止で露呈したアベノミクス農政の本質」『農村と都市をむすぶ』788: 42-50、2017 年 6 月.
31. 久野秀二「遺伝子組換え作物の正当化言説とその批判的検証」『農業と経済』83(2): 62-74、2017 年 3 月.
32. 久野秀二「多国籍アグリビジネスによる「種子の包摂」の現段階と対抗運動の可能性」『有機農業研究』8(2): 11-15、2016 年 12 月. https://doi.org/10.24757/joas.8.2_11
33. 久野秀二「TPP 協定と GMO 規制」『農業と経済』82(2): 28-32、2016 年 3 月.
34. 富吉満之、西川芳昭、金氣興、李柱旻、久野秀二「韓国における在来品種の管理状況と関係者の意識 — 民間団体・研究機関への調査から」『農林業問題研究』50(1): 49-54、2014 年 6 月.
<https://doi.org/10.7310/arfe.50.49>
35. 富吉満行、西川芳昭、金氣興、李柱旻、久野秀二「韓国における種子管理に係る諸組織の機能に関する一考察」『農林業問題研究』49(1): 125-130、2013 年 6 月.
<https://doi.org/10.7310/arfe.49.125>
36. Imaizumi A. and Hisano S., 'Institutionalisation of Genetic Resource Management with Farmers: Cases of Traditional Vegetables in Japan', *Journal of Agricultural Science and Technology B*, 3(6): 399-413, 2013.
37. Ikejima Y. and Hisano S., 'Commodification of Local Resources and Its Paradox: A Case of Traditional Vegetables in Kyoto'. *Yokohama Journal of Social Sciences*, 16(4/5): 1-15, 2012.

38. 久野秀二「誰がタネを制するか? — 種子ビジネスの現状と対抗運動の可能性」『農業と経済』78(12): 5-21、2012年12月
39. 久野秀二「多国籍アグリビジネスの影響力とTPP交渉」『経済』201: 154-165、2012年6月
40. 久野秀二「米国農業関連業界はTPPに何を求めているか — 議会公聴会・USTR公募意見で明らかになった問題点」『農業と経済』78(6): 58-74頁、2012年5月
41. 久野秀二「食料安全保障と食料主権」、『農業と経済』77(11): 48-61、2011年11月
42. 久野秀二「世界食料不安時代の到来と食料主権(下)」『経済』192: 118-133、2011年9月
43. 久野秀二「世界食料不安時代の到来と食料主権(上)」『経済』191: 108-123、2011年8月
44. サンギーター・ジョーダン、久野秀二「有機農業部門の<コンベンショナル化>過程に関する日本とオーストラリアの比較研究」『農業市場研究』20(1): 15-26、2011年6月。
https://doi.org/10.18921/amsj.20.1_15
45. 久野秀二「農業資材産業における多国籍アグリビジネスのグローバル戦略」『農業市場研究』19(3): 4-17、2010年12月。https://doi.org/10.18921/amsj.19.3_4
46. 久野秀二「フードポリティクスを見据えた市民社会組織の新たな挑戦 — オランダを中心に」『農業と経済』76(4): 124-134、2010年3月
47. Msuya E., Hisano S. and Nariu T., 'An Investigation into Commercialization Constraints Facing Smallholder Farmers in Tanzania'. *Journal of Rural Economics*, Special Issue 2009: 551-558, 2009.*
48. Sekine K. and Hisano S., 'Agribusiness Involvement in Local Agriculture as a "White Knight"? A case study of Dole Japan's fresh vegetable businesses'. *International Journal of Sociology of Agriculture and Food*, 16(2): 70-89, 2009.
49. 久野秀二「国連『食料への権利』報告と求められる農政改革」『農業と経済』75(6): 37-48、2009年6月
50. 久野秀二「食糧危機および金融危機下における多国籍アグリビジネスの経営状況」『農業・農協問題研究』41: 17-27、2009年5月
51. 久野秀二「関係主体のネットワーク化を志向する有機農業の展開 — オランダの事例から」『農業と経済』75(3): 40-47、2009年3月
52. 久野秀二「食料サミットと国際機関の対応」『農業と経済』74(14): 5-18、2008年12月
53. 久野秀二「多国籍アグリビジネスとCSR — 社会・環境基準の導入と普及をめぐる問題点」『農業と経済』74(7): 15-28、2008年7月
54. Sekine K., Boutonnet J-P., and Hisano S., 'Emerging "Standard Complex" and Corporate Social Responsibility of Agro-food Businesses: A case study of Dole Food Company'. *The Kyoto Economic Review* 77(1): 67-77, June 2008. <https://www.jstor.org/stable/43213348>
55. 久野秀二「バイオ燃料ブームの政治経済学 — グリーンはどこまでクリーンか」『農業・農協問題研究』38: 16-27、2008年2月
56. 久野秀二「遺伝子組換え技術はどこへ向かうか」『農業と経済』73(14): 5-19、2007年12月
57. オーラ・フラーテン、久野秀二「ノルウェー — 将来危機に備える食料輸入国の食料安全保障政策」『農業と経済』73(8): 129-136、2007年8月

58. 久野秀二「多国籍アグリビジネスの再編と強まる農業・食料支配」『経済』140: 31-44、2007年5月
59. 久野秀二「遺伝子組換え作物をめぐる科学技術と社会」『日本の科学者』41(12): 22-27、2006年12月
60. 久野秀二「ネスレ — 巨大食品企業の事業戦略と社会的責任」『農業と経済』72(5): 84-88、2006年4月
61. Hisano S. 'A Critical Observation on the Mainstream Discourse of Biotechnology for the Poor'. *Tailoring Biotechnologies* 1(2): 81-106, November 2005.
62. 久野秀二「遺伝子組み換え作物の社会科学 — 科学技術が社会に受け入れられるには」『イリューム』17(1): 4-21、2005年6月
63. 久野秀二「再論・アグリビジネスと遺伝子組換え作物 — 書評への回答にかえて」『農経論叢』61: 271-290、2005年3月
64. 久野秀二「遺伝子組換え作物 — 農薬会社主導で進められる商品開発と社会的妥当性」『科学』75(1): 31-38、2005年1月
65. 久野秀二「農業科学技術をめぐる政策展開と多国籍アグリビジネス」『土地制度史学』175: 62-70、2002年10月
66. 朴紅・坂下明彦・小野雅之・久野秀二・坂爪浩史・太田原高昭「中国輸出向け野菜加工企業における原料の集荷構造 — 山東省青島地域の食品企業の事例分析」『農経論叢』58: 99-110、2002年3月
67. Zaman Z.U., Mishima T., and Hisano S., 'The Role of Rice Processing Industries in Bangladesh: A Case Study of the Sherpur District'. *The Review of Agricultural Economics*, 57: 121-133, March 2001.
68. Altoé S.M., Tanaka N., and Hisano S., 'Soybean Production and GMO Issues in Brazil'. *The Review of Agricultural Economics*, 57: 135-155, March 2001.
69. Jussaume Jr. R.A., Hisano S., and Taniguchi Y., 'Food Safety in Japan', *Japanstudien*, 12: 211-228, December 2000.
70. 久野秀二「遺伝子組み換え作物の開発推進論拠の批判的検討 — <食料増産=飢餓克服>論とバイオテクノロジーの可能性」『日本の科学者』35(5): 33-37、2000年5月
71. 久野秀二「遺伝子組み換え作物の社会経済的評価 — 開発推進論拠の批判的検討」『農経論叢』56: 1-26、2000年3月
72. Zaman Z.U., Mishima T., and Hisano S., 'The Benefits of Market Participation and the Rice Marketing Systems in Bangladesh'. *The Review of Agricultural Economics*, 56: 195-206, March 2000.
73. 久野秀二「国産大豆の需給動向と生消提携の新展開」『農業経済研究別冊 1999年度日本農業経済学会論文集』284-289、1999年12月
74. 久野秀二「国際化のなかの日本農業の課題 — WTO体制と食料主権」『生活協同組合研究』280: 19-27、1999年5月
75. 久野秀二「主要農作物種子制度下のコメ種子市場とアグリビジネスの事業展開」『農経論叢』55: 73-85、1999年3月
76. 久野秀二「農業技術の高度化と農薬市場の再編」『農業市場研究』7(1): 30-42、1998年9月

77. 久野秀二「種苗事業の構造と機能に関する一考察 — 野菜種苗を中心にして」『農経論叢』54: 21-37、1998年3月
78. 久野秀二「アメリカ合衆国におけるバイオ規制政策の展開 — 遺伝子組換え作物と安全性論議」『環境と公害』27(1): 59-65、1997年7月
79. 久野秀二「種子産業における市場構造の特徴 — その基本的性格と事業主体の存在形態」『農業市場研究』3(2): 35-45、1995年3月
80. 久野秀二「農業バイオテクノロジーへの期待と不安 — 社会科学研究のための一考察」『唯物論と現代』16: 25-42、1995年10月
81. 久野秀二「構造的不況下の丹後農業と新たな発展方向 — 京都府与謝郡加悦町を事例に」『調査と研究』7: 45-64、1994年10月
82. 久野秀二「多国籍企業のアグリバイオ戦略と種子産業」『経済論叢』153(5/6): 17-39、1994年5/6月

D. 書評

1. 久野秀二「村田武編『新自由主義グローバリズムと家族農業経営』筑波書房」『農業問題研究』52(2)/通巻87: 43-45、2020年12月。
2. 久野秀二「立川雅司著『遺伝子組換え作物をめぐる「共存」 — EUにおける政策と言説 —』農林統計出版」『農業経済研究』90(2): 167-169、2018年10月。
3. 久野秀二「F・H・バトル、O・F・ラーソン、G・W・ギレスピーJr.著／河村能夫・立川雅司監訳『農業の社会学—アメリカにおける形成と展開—』ミネルヴァ書房」『歴史と経済』239: 50-52、2018年4月
4. 久野秀二「斎藤潔著『アメリカ農業を読む』農林統計出版」『農林業問題研究』46(4): 422-423、2011年3月
5. 久野秀二「食糧の生産と消費を結ぶ研究会編『食料危機とアメリカ農業の選択』家の光協会」、『農業と経済』75(8): 111、2009年8月
6. 久野秀二「書評論文 — 藤岡典夫・立川雅司編『GMO — グローバル化する生産とその規制』農文協」、『農業問題研究』60: 37-41、2007年6月
7. 久野秀二「解題 — 農業バイオテクノロジーと貧困層：プロメテウスの科学」、『のびゆく農業 — 世界の農政』914: 2-7、2001年
8. 久野秀二「村田武著『世界貿易と農業政策』日本経済評論社」、『農林水産図書資料月報』48(3): 4-5、1997年
9. 久野秀二「日本農業市場学会編『問われるガット農産物自由貿易』筑波書房」、『農業・農協問題研究』16: 38-42、1996年

E. 総説・解説等

1. Hisano S. "Narrow policies for Japanese agriculture won't bear much fruit". *East Asia Forum*, 20 March 2021. <https://www.eastasiaforum.org/2021/03/20/narrow-policies-for-japanese-agriculture-wont-bear-much-fruit/>

2. 久野秀二・池上甲一・木村あや・小林舞・西山未真・山本奈美「座談会 食からのアプローチが社会を変え、世界を変える可能性 — 主体性を持った「食市民」の形成をめざして」『季刊 農業と経済』88 巻 4 号 (2022 年秋号) : 10-33 頁、2022 年 11 月.
3. 久野秀二「多国籍企業による農業・食料支配の新たな段階—農薬・種子・バイオテク産業を中心に」『大阪保険医雑誌』650: 14-20 頁, 2020 年 10 月.
4. 久野秀二「多国籍企業と農業」、日本農業経済学会編『農業経済学事典』第 16 章: 562-565.
5. 久野秀二「農業資源と知的財産権」、日本農業経済学会編『農業経済学事典』第 11 章: 404-405.
6. 久野秀二「主要農作物種子事業と北海道農業への期待」『地域と農業』111、2018 年 10 月.
7. 久野秀二「種子法廃止の経緯と影響について」『農業普及』69(9): 76-78、2017 年 9 月.
8. 久野秀二「主要農作物種子法の廃止で危ぶまれる農業・食料への主権」『農業および園芸』92(8): 659-660、2017 年 8 月.
9. 久野秀二「大義なき種子法廃止、農業活性化に逆行」『全国農業新聞』2017 年 8 月 25 日 : 3 面.
10. 久野秀二「種子法廃止—公共財の私的「囲い込み」に警戒が必要」『科学』87(7): 597、2017 年 7 月.
11. 久野秀二「ほんとうにいいのか? 種子法廃止」『地上』71(7): 32-37、2017 年 7 月.
12. 久野秀二「種子法廃止法案の問題点は 種子事業に多国籍企業参入の懸念」、農民運動全国連合会『ストップ! 日米 FTA と「安倍農政改革」』本の泉社、2017 年 5 月.
13. 久野秀二「穀物メジャーと農産物貿易」「アグリビジネスの多国籍化」「アグリビジネスと農業構造」、農業と経済編集委員会『新版 キーワードで読み解く現代農業と食料・環境』昭和堂、12-17 頁、2017 年 3 月
14. 久野秀二「種子法廃止法案の問題点をさぐる」『農民』2017 年 3 月 6 日 : 1 面.
15. 久野秀二「主要農作物種子法廃止の問題点」『日本農業新聞』2017 年 2 月 2 日 : 2 面.
16. 久野秀二「遺伝子組み換えは世界の飢餓を救うのか」『生活と自治』564: 16-17、2016 年 4 月.
17. 久野秀二「遺伝子組み換え表示制度の行方 — アメリカでも知る権利求める動き活発化」『ニューカントリー』173: 20-22、2013 年 8 月
18. 久野秀二「食料への権利 確立を (農業論壇: 米国干ばつと食料危機)」『日本農業新聞』2012 年 9 月 3 日 : 4 頁
19. 久野秀二「日本と世界のタネのいま」『The Big Issue Japan』192: 18-19、2012 年 6 月
20. 久野秀二「穀物メジャーと農産物貿易」「アグリビジネスの多国籍化」「アグリビジネスと農業構造」、農業と経済編集委員会『キーワードで読み解く現代農業と食料・環境』昭和堂、12-17 頁、2011 年 5 月
21. 久野秀二「国連『食料への権利』論と国際人権レジームの可能性」『信州自治研』2010 年 2 月号、20-24、2010 年 2 月
22. 久野秀二「食料価格高騰と国際社会の対応」『中酪情報』519: 3-5、2009 年 1 月
23. 久野秀二「日本の食と農を考える」『ねっとわーく京都』235: 37-41、2008 年 8 月
24. 久野秀二「遺伝子組換え技術はなぜ受け入れられないのか — 事実解きほぐし選択肢を検証する

社会的作業が前提」『ニューカントリー』652: 14-17、2008年7月

25. 久野秀二「いまどきの農業・食料事情に直言する」『くらしと自治・京都』337: 6-7、2008年5月
26. 久野秀二「科学者 vs 市民 — GM 作物をめぐる対立を解くためには」『現代農業』85(4): 352-353、2006年4月
27. 久野秀二「バイオテクノロジーで食糧問題は解決されるのか」『理戦』82: 148-169、2005年10月
28. 松原豊彦・久野秀二・横山英信・河相一成「座談会：こんにちの食糧問題を考える」『経済』120: 130-161、2005年9月
29. 久野秀二「世界の食料問題と遺伝子組換え作物・食品」『大阪府保険医雑誌』458: 15-19、2005年3月
30. 久野秀二「遺伝子組換え作物と農業」『地理・地図資料』2004年10月号：16-18
31. 久野秀二「食料危機と GMO 論争 — 求められる農業科学技術パラダイムの批判的再構築」『国際開発ジャーナル』568: 10-11、2004年3月
32. 久野秀二「遺伝子組換え作物・食品の規制をめぐるせめぎ合い」、日本環境会議編『アジア環境白書 2003/04』東洋経済新報社、324-329頁、2003年
33. 久野秀二「農業バイオテクノロジーの政治経済学」『評論』131: 8-9、2002年6月
34. 福田哲也・日野秀逸・久野秀二「座談会：生命科学と人間社会」『経済』66: 14-35、2001年3月
35. 久野秀二「生物多様性と食料・農業遺伝資源」、日本環境会議編『アジア環境白書 2001/01』東洋経済新報社、287-291頁、2000年11月
36. 久野秀二「種子をねらう多国籍企業」『食べもの通信』352: 17-19、2000年6月
37. 久野秀二「遺伝子組み換え作物・食品」『地図・社会科資料』2000年1月号：13頁
38. 久野秀二「農協時論 — 遺伝子組み換え農産物」『農業協同組合新聞』1999年11月30日：5頁
39. 久野秀二「アメリカ農業とアグリビジネス」『地理・地図資料』1998年10月号：1-3頁
40. 久野秀二「多国籍アグリビジネスのバイオ戦略と『農業者の利益』1~3」『2001Fora』41/42/43、1999年6/8/10月
41. 久野秀二「国際貿易と環境問題」、吉田邦夫監修『環境大事典』工業調査会、1998年11月、116-126頁
42. 久野秀二「アグリビジネスに囲い込まれる遺伝子」『月刊オルタ』1998年3月号：5-9頁
43. 久野秀二「農業と食糧生産の動向／農薬・化学肥料と環境保全型農業」、日本環境会議編『アジア環境白書 1997/98』東洋経済新報社、280-287頁、1997年12月
44. 久野秀二「世界は今 — 米国の遺伝子組換え農作物」『日本農業新聞』1997年11月24日：2面
45. 久野秀二「社会科学はゴミ問題をいかに考えているか・考えるべきか」『北海道経済』373: 21-36頁、1997年4月

F. 翻訳

1. 久野秀二「ジェーン・ケルシー『TPP交渉とニュージーランドの経験』『農業と経済』77(5): 14-28頁、2011年5月
2. 分担『利潤への渴望 — 農民・食料・環境に対するアグリビジネスの脅威』大月書店、F. マグドフ、J.B. フォスター、F. バトル編著／中野一新監訳、2004年
3. 分担『カーギル — アグリビジネスの世界戦略』大月書店、B.ニーン著／中野一新監訳、1997年

G. ワーキングペーパー

1. Pitria M. and Hisano S., "Community Food Initiatives (CFIs) and Transformative Food Systems Narrative in Indonesian Megacities Using Real Utopias Perspective: Transformative Collaborations with and for Whom?" *AGST Working Paper Series* No.2024-02, Kyoto University Asian Platform for Global Sustainability & Transcultural Studies, pp.1-19, October 2024.
2. Lu Y. and Hisano S., "Social Innovation in Organic Agri-food Networks in Japan: A Case Study of Kagoshima Organic Farmers' Association". *AGST Working Paper Series* No.2023-01, Kyoto University Asian Platform for Global Sustainability & Transcultural Studies, pp. 1-35, November 2023.
3. 久野秀二「多国籍アグリビジネスによる農業包摂の新たな段階・試論：農業資材産業を中心に」、京都大学大学院経済学研究科ディスカッションペーパーシリーズ、J-20-005: 1-10頁、2020年8月.
4. 久野秀二「オランダにおける多面的機能型農業・市民的食農システムの可能性と課題」京都大学大学院経済学研究科ディスカッションペーパーシリーズ、J-20-001: 1-14頁、2020年4月.
5. Adiputri Z.U. and Hisano S. 'Mind the Gap: Comparing Legitimacy Discourse of the Roundtable on Sustainable Palm Oil (RSPO) in the National and Sub-National Context'. *AGST Working Paper Series* No.2019-01, Kyoto University Asian Platform for Global Sustainability & Transcultural Studies pp.1-36, January 2019.
6. 久野秀二「種子をめぐる攻防：農業バイオテクノロジーの政治経済学」、京都大学大学院経済学研究科ディスカッションペーパーシリーズ、J-18-001：1-44頁、2018年6月.
7. Hiraga M. and Hisano S., 'The First Food Regime in Asian Context? Japan's Capitalist Development and the Making of Soybean as a Global Commodity in the 1890s-1930s', *AGST Working Paper Series* No.2017-03, Kyoto University Asian Platform for Global Sustainability & Transcultural Studies, pp.1-33, November 2017.
8. 久野秀二「主要農作物種子法廃止の経緯と問題点：公的種子事業の役割を改めて考える」、京都大学大学院経済学研究科ディスカッションペーパーシリーズ、J-17-001：1-29頁、2017年4月.
9. Xing Y., Rajaonarison H. M., and Hisano S., 'Financialization of agriculture in China: the role of private equity firms, agribusiness companies and local governments', *AGST Working Paper Series* No.2016-02, Kyoto University Asian Platform for Global Sustainability & Transcultural Studies, pp.1-27, October 2016.
10. Hisano S. and Rajaonarison H. M., 'Studying Sustainable Development in an International and Multidisciplinary Setting: An experience of international graduate education for critical agrarian studies at Kyoto University', *AGST Working Paper Series* No.2016-01, Kyoto University Asian Platform for Global Sustainability & Transcultural Studies, pp.1-32, October 2016.

11. Hisano S., 'Food Security Politics and Alternative Agri-food Initiatives in Japan', *Working Paper* No.131, Graduate School of Economics, Kyoto University, pp.1-32, March 2015.
12. Hisano, S., 'What does the U.S. Agribusiness Industry Demand of Japan in the TPP Negotiations? Problems revealed in the congressional hearings and the USTR public comment procedures', *Working Paper* No.127, Graduate School of Economics, Kyoto University, pp.1-23, February 2013.
13. Hisano S., 'Critical Observation on the Mainstream Discourse of Biotechnology for the Poor', *Working Paper* No.82, Graduate School of Economics, Kyoto University, September 2005.
14. 久野秀二「遺伝子組換え作物をめぐる科学技術と社会の関係性 — 社会科学はいかなる貢献を期待されているか」、京都大学経済学研究科ワーキングペーパーJ-45、2005年4月

H. 調査報告書・科研費報告書等

1. 久野秀二「多国籍アグリビジネスの事業展開と農業・食料包摂の今日的構造」、科研報告書『農業市場の制度問題と分析モデルに関する統合的研究』86-115頁、2007年3月
2. 久野秀二「多国籍アグリビジネス（農薬、種子、バイオ）に関する主要文献と論点」、科研報告書『農業市場の制度問題と分析モデルに関する統合的研究』5-25頁、2006年3月
3. 久野秀二「JA ほべつ — 中山間地で取り組むヘルシーフード農業」、国際協力事業団北海道国際センター『北海道における地域振興事例調査（農協の役割）報告書』54-63頁、2002年3月
4. 久野秀二「大豆の需給動向と国内生産振興」、科研報告書『価格政策再編下の農産物需給調整の方策に関する主要品目別研究』55-78頁、2000年3月
5. Jussaume Jr, R.A. et al., *The Role of Asian Transnational Corporations in Evolving Asian Agri-Food Systems, A Report for the TOYOTA Foundation, Jan. 2000*
6. 久野秀二「多国籍アグリビジネスのバイオ戦略と『農業者の利益』」、科研報告書『WTO体制移行下におけるアグロフード・システムと農政再編に関する国際比較研究』19-33頁、1999年
7. 久野秀二『種苗事業の構造と展開 — 規制緩和・国際化・バイオテクノロジー』北海道農産物協会発行、1998年10月
8. 久野秀二・伊藤亮司『北海道由仁町における農業構造改善地域連携システム支援事業についての報告書』農業構造改善協会、1996年
9. 岡田知弘ほか『大江町における地域就業構造と地域産業振興の方向に関する調査』、京都府農業会議内部情報607、分担箇所8-13頁、1995年
10. 久野秀二『平成6年「田畑売買価格等に関する調査」の結果』、京都府農業会議農政研究資料94-88号、1995年
11. 中野一新ほか『平成5年度農業構造改善基礎調査報告書 — 兵庫県東条町古家・岡本地区』近畿農政局、分担箇所10-16頁、1994年
12. 岡田知弘ほか『地域産業の再編と農・工・観の総合的発展をめざすまちづくり — 京都府与謝郡加悦町農村実態調査報告書』、京都府農業会議農政研究資料93-83号、分担箇所47-71頁、1994年
13. 久野秀二『平成5年「田畑売買価格等に関する調査」の結果』、京都府農業会議農政研究資料93-82号、1994年

14. 中野一新ほか『京都府の農業構造と担い手の存在状況 — 1990年農業センサス結果分析』、京都府農業会議農政研究資料 92-79号、分担箇所 72-95頁、1993年

I. 国際学会/国際研究集会/国際セミナー報告 (*は口頭報告者)

1. Kimura A. H. and Hisano S.*, "Ethics and Aesthetics of Alternative Proteins in Japan". 2024 *International Conference on Chinese Food Culture: Comparative Studies of Sustainable Food Culture*, Kyoto: Japan, 19 October 2024.
2. Kimura A. H. and Hisano S.*, "Ethics and Aesthetics of Alternative Proteins in Japan". *EurSafe 2024 (European Society for Agricultural and Food Ethics)*, Ede: The Netherlands, 14 September 2024.
3. Hisano S.*, "Chairperson's Remarks: International Trends in Critical Agri-Food Studies: Conversations on the Food Regime perspectives and the Wageningen Rural Sociology approaches". *International Symposium of the Rural Issues Association of Japan*, Tokyo: Tokyo University of Agriculture, 26 November 2022.
4. Hisano S.*, 'Power Dynamics and Discourses behind Climate Smart Agriculture: Global Context and Contest'. *ARAFE International Symposium: Transformation towards Sustainable Agriculture, Rural Communities, and Ecosystems*, Online, 31 October 2021.
5. Kimura A.H.* and Hisano S., 'Using Traditional Vegetables as a Way for Agricultural Revitalization: A case study of Kyoto vegetables.' *Is Rural Japan Sustainable? A Symposium on the Past, Present and Future of Community-based Endeavors*, Online, 1-3 October 2021.
6. Hisano S.*, 'Sustainability Washing: Corporate Takeover of Sustainable Development in Agriculture and Food'. *Kyoto International Workshop on Consumption and Sustainability: Past, Present and Future*, Asian Platform for Global Sustainability & Transcultural Studies, Kyoto University, Kyoto, 18 February 2020.
7. Hisano S.*, 'New peasant markets as a way of (re)vitalization of rural local economies in Japan'. *International Conference on Rural Vitalization: Comparative Analysis of Rural Development Policies in Different Countries*, College of Humanities and Development Studies, China Agricultural University, Beijing, 7 May 2019.
8. Hisano, S.*, 'Introduction: Food Regime Analysis in an Asian Context', at RC40 Session, *19th ISA World Congress of Sociology*, Toronto, 16 July 2018.
9. Hisano, S.*, 'Dynamics of De-re-agrarianisation and De-re-peasantisation in Japanese Agriculture', at *the 4th Kyoto-Wageningen International Graduate Workshop Special Session on Sustainable Rural Development and Food Consumption in Japan*, Kyoto University, 9 May 2018.
10. Hisano, S.*, 'The Dynamics of De-re-agrarianisation and De-re-peasantisation in Japanese Agriculture: Put in the Global and Local Context', Seminar at the Department of Geography, Centre for Sustainability and the Department of Sociology, Gender and Social Work, University of Otago, New Zealand, 21 March 2018.
11. Hisano S.*, 'Studying Sustainable Development in an International and Multidisciplinary Setting: An experience of international graduate education for critical agri-food studies at Kyoto University'. *Internationalization of Graduate Education for Agricultural and Rural Development IGEARD International Conference 2016*, PICC, Manila: Philippines, 23 November 2016.

12. Jung, S.W.*, Hisano S., Fonte M., and Jongerden J., 'Place Reconstruction by Agrarian Prosumer'. RC40 Mini-conference, *16th World Congress of Rural Sociology*, Ryerson University, Toronto: Canada, 13 August 2016.
13. Hisano S.*, 'Just a Revival of Agrarian and Rural Values, or a Political Mobilisation against Neoliberal Food Security Project?' *International Symposium on "Rethinking Food and Sustainability"*, Korea University, Seoul: S Korea, 12 May 2016.
14. Hiraga M.* and Hisano S., 'Restructuring Vegetable Oil Supply and Demand in Asia Under Food Regimes: A Preceding Example of Japan to Be Compared with Rapid Increase of Vegetable Oil Availability in Asian Countries', *AGRIFOOD XXI: Food Planet People*, Sydney: Australia, 24 November 2014.
15. Jung S.W.*, Hisano S., and Lambino J., 'Dynamics and Transformation of Alternative Food Network (AFN) in South Korea', *5th International Conference of the Asian Rural Sociology Association*, National University of Laos, Vientiane, Laos, 3 September 2014.
16. Hisano S.*, 'International Responsibility of Japan in ASEAN Development: Historical Lessons and Future Perspectives for Extraterritorial Human Rights Obligations'. *ETO Conference "Rights-based Governance beyond Borders: The Role of ETOs"*, Chulalongkorn University, Bangkok: Thailand, 2 September 2014.
17. Hiraga, M.* and Hisano S., 'Restructuring Vegetable Oil Supply and Demand in Asia: The Impact of Trade Liberalization Facilitating Increase of Fat Supply Among Asian Nations While Jeopardizing Their Domestic Production', *18th World Congress of Sociology*, Yokohama, Japan, 16 July 2014.
18. Hisano S.*, 'Food Security Politics and Alternative Agri-food Initiatives in Japan'. International Forum on Food Security and Agricultural Development in East Asia, National Taiwan University, Taipei, Taiwan. 25 April 2014.
19. Hisano, S., 'Food Security Politics: Global Governance and ETOs', *Kyoto International Workshop on Land Grabbing* (JSPS/KUASU Land Grab Kaken 2nd Meeting), Kyoto University, 22 February 2014.
20. Hisano S.*, 'Local Food Movement in Japan: Rethinking Alternativeness', *Japan-Korea International Workshop on Food and Sustainability*, Kyoto University, 10 January 2011.
21. Sekine K.*, Boutonnet J-P., and Hisano S., 'Is Transnational Corporations' Contribution to the Sustainable Development of Local Agro-food Systems Possible? A case study of Dole Food Company in Japan and France', *17th World Congress of Sociology*, Gothenburg: Sweden, 11-17 July 2010.
22. Sekine K.*, Hisano S., and Boutonnet J-P., 'Can Transnational Agribusiness Innovate the Agro-food Systems towards the Sustainable Development of Local Agro-food System?' *International Symposium on Innovation and Sustainable Development in Agriculture and Food: ISDA2010*, Montpellier: France, 28 June – 1 July 2010.
23. Imaizumi A.* and Hisano S.*, 'Farmers' Seed System and the Institutionalisation of Genetic Resource Use and Management in Agriculture: A case of seed supply for local traditional vegetables in Japan', *International Symposium on Innovation and Sustainable Development in Agriculture and Food: ISDA 2010*, Montpellier: France, 28 June – 1 July 2010.
24. Ikejima Y.* and Hisano S., 'Commodification of Local Resource and its Paradox: A case of traditional vegetables in Kyoto', *12th World Congress of Rural Sociology*, Goyang: Korea, 6-11 July 2008.

25. Ni Hui* and Hisano S., 'Development of Contract Farming in Chinese Sericulture and Silk Industry', *12th World Congress of Rural Sociology*, Goyang: Korea, 6-11 July 2008.
26. Msuya E.E.*, Hisano S., and Nariu T., 'Explaining Productivity Variation among Smallholder Maize Farmers in Tanzania', *12th World Congress of Rural Sociology*, Goyang: Korea, 6-11 July 2008.
27. Hisano S.*, 'Actuality and Potentiality of Ethical Reflections for Reconstruction of Technology'. *4th CSG and ERSC Conference Genomics and Society: Setting the Agenda*, Amsterdam: NL, 17-18 April 2008.
28. Sekine K.*, Boutonnet J-P., and Hisano S., 'Emerging "Standard Complex" and Corporate Social Responsibility of Agro-food Businesses: A case study of Dole Food Company'. *3rd Fair Trade International Symposium*, Montpellier: France, 15 May 2008.
29. Hisano S.*, 'Ethicisation of Biotechnology Research, Politicisation of Biotechnology Ethics'. *International Conference of Tailoring Biotechnologies: Reconstructing Agro-biotechnologies for Development?*, Kyoto: Japan, 3-5 November 2007.
30. Ikejima Y.* and Hisano S.*, 'Rediscovering Locality? A case of traditional vegetables in Kyoto'. *1st International Conference of Tailoring Biotechnologies: Reconstructing Agro-biotechnologies for Development?*, Kyoto: Japan, 3-5 November 2007.
31. Sekine K.* and Hisano S.*, 'Can Agribusiness Intervention Help Japanese Farmers Out of the Crumbling Rural Economy? A Case Study of Dole Japan's Fresh Vegetable Business'. *22nd Conference of European Society for Rural Sociology*, Wageningen: The Netherlands, 19-24 August 2007.
32. Jordan S.* and Hisano S.*, 'Conventionalization of Organic Agriculture in Japan: From Teikei System to Agribusiness'. *16th World Congress of Sociology*, Durban: South Africa, 23-29 July 2006.
33. Jordan S.*, Hisano S., and Iizawa R., 'Conventionalization in the Australian Organic Industry: A Case Study in the Darling Downs Region'. *11th World Congress of Rural Sociology*, Trondheim: Norway, 25-30 July 2004.
34. Hisano S.*, 'OECD Models for Biotechnology Regulation and Business Interests'. TAO/SG BioTalk Seminar Series, Wageningen University and Research Centre: NL, April 20, 2004.
35. Hisano S.* and Altoé S.M., 'Beyond the GMO Discourse: Reformation of Institutional Science and Technology in Southern Brazil'. *IDS Conference on Science and Citizenship in a Global Context: Challenges from New Technologies*, Sussex: UK, 12-13 December 2002.
36. Hisano S.* and Altoé S.M., 'Brazilian Farmers at a Crossroads: Biotech Industrialization of Agriculture, or New Alternatives for Small Family Farmers?' *3rd International Congress of European Latinamericanists*, Amsterdam: The Netherlands, 3-6 July 2002.
37. Hisano S.*, 'Political Economy and Sociology of Agricultural Biotechnology'. *4th Joint Symposium Seoul National University - Hokkaido University*, Seoul, 22-23 October 2001.
38. Hisano S.*, Jussaume Jr. R.A.*, and Taniguchi Y., 'The Consequences of Food Safety in Modern Japan'. *10th World Congress of Rural Sociology*, Rio de Janeiro: Brazil, 3 August 2000.
39. Jussaume Jr. R.A.*, Hisano S., Kim C.K., McMichael P., Otsuka S., Taniguchi Y., Zhibin L., 'Preliminary Investigations into the Local Impacts of East Asian Agri-food Restructuring'. *10th World Congress of Rural Sociology*, Rio de Janeiro: Brazil, 1 August 2000.
40. Goss J., Hisano S., Jussaume Jr. R.A.*, Kim C.K., McMichael P., Otsuka S., Taniguchi Y., and Zhibin L., 'The

Role of Asian Transnational Corporations in Evolving Asian Agri-Food Systems'. *14th World Congress of Sociology*, Montreal: Canada, 26 July- 1 August 1998.

J. 国際学会・研究集会コーディネーター

1. *International Symposium of the Rural Issues Association of Japan* "International Trends in Critical Agri-Food Studies: Conversations on the Food Regime perspectives and the Wageningen Rural Sociology approaches", Tokyo: Tokyo University of Agriculture, 26 November 2022.
2. *Kyoto International Workshop on Consumption and Sustainability: Past, Present and Future*, Kyoto University, 17-21 February 2020. (With Ai Hisano and Iris van Hal)
3. *The 5th Wageningen-Kyoto International Graduate Workshop on Food, Farm and Rural Development*, Wageningen University, 13 May 2019. (With Joost Jongerden)
4. RC40 Session on Food Regime Analysis in an Asian Context, *19th ISA World Congress of Sociology*, Toronto, 16 July 2018. (With Midori Hiraga, Chul-Kyoo Kim, Angga Dwiartama, and Hugh Campbell)
5. *The 4th Wageningen-Kyoto International Graduate Workshop on Food, Farm and Rural Development*, Kyoto University, 7-9 May 2018. (With Joost Jongerden)
6. *The 3rd Wageningen-Kyoto International Graduate Workshop on Food, Farm and Rural Development*, Wageningen University, 28 June 2017. (With Joost Jongerden)
7. *International Workshop on Global Land Grabbing and Agribusiness Now: Africa, Latin America, Asia and Japan*, Kyoto University, 22 February 2017.
8. *International Special Lectures: Agroecology and Peasant Agriculture as a Promise for the Future*, Kyoto University, 25 May 2016.
9. *The 2nd Kyoto-Wageningen International Graduate Workshop on Food, Farm and Rural Development*, Kyoto University, 24-25 May 2016. (With Joost Jongerden)
10. *Kyoto International Symposium on Global Land Grabbing and Regulatory Regime: A Look from Japan and Far East*, Campus Plaza Kyoto, 21 February 2016.
11. *The 1st Wageningen-Kyoto International Graduate Workshop on Food, Farm and Rural Development*, Wageningen University, 12-13 March 2015. (With Joost Jongerden)
12. RC40 Session on Food Security: Politics of Food Security in Asia Pacific: Neoliberal Reforms, Contamination, and Social Movements, *18th World Congress of Sociology*, Yokohama, Japan, 15 July 2014. (with Tanaka K., Kimura A.H., and Katano Y.)
13. *Joint Faculty Workshop on Economics between Chulalongkorn University and Kyoto University*, Kyoto University, 9 December 2013.
14. *International Workshop on Food and Sustainability*, Kyoto University, 10 January 2011. (With Chul-Kyoo Kim)
15. *International Conference of Tailoring Biotechnologies: Reconstructing Agro-biotechnologies for Development?* Kyoto: Japan, 3-5 November 2007. (With Guido Ruivenkamp and Joost Jongerden)

K. 国内学会報告 (共通論題・シンポジウム)

1. 久野秀二「持続可能な食農システムへの転換 — グローバルヘゲモニーと対抗的実践との相克」、日本農業経済学会 2022 年度大会シンポジウム：オンライン、2022 年 3 月 26 日
2. 久野秀二「多国籍アグリビジネスによる「種子の包摂」の現段階と対抗運動の可能性」、日本有機農業学会大会：龍谷大学、2015 年 12 月 12 日
3. 久野秀二「新自由主義的食料安全保障と多国籍アグリビジネスによる種子支配」、日本有機農業学会／立教大学経済研究所共催公開フォーラム：立教大学、2012 年 9 月 29 日
4. 久野秀二「多国籍アグリビジネスのグローバル戦略と日本農業 — 農業資材産業を事例に」、日本農業市場学会 2010 年度大会シンポジウム：北海道大学、2010 年 7 月
5. 久野秀二「農業科学技術をめぐる政策展開と多国籍アグリビジネス」、土地制度史学会秋季学術大会共通論題：岩手大学、2001 年 10 月
6. 久野秀二「遺伝子組み換え食品の政治経済学」、日本学術会議農業経済学研究連絡会主催シンポジウム：愛媛大学、2001 年 4 月
7. 久野秀二「農業のハイテク化と農薬・種苗市場の再編」、日本農業市場学会 1998 春季大会シンポジウム：千葉大学園芸学部、1998 年 4 月

L. 国内学会報告 (自由論題)

1. 翟亜蕾*・藤田幸一・久野秀二「麻葉代替作物の導入と貧困農家への影響に関する考察 — ミャンマー・コーカン地域におけるサトウキビ契約栽培の事例」、日本農業経済学会 90 周年記念大会：神戸大学、2014 年 3 月 30 日
2. 富吉満之*・西川芳昭・金氣興・李柱炅・久野秀二「韓国における在来品種の管理状況と関係者の意識 — 民間団体・研究機関への調査から」、地域農林経済学会大会：岡山大学、2013 年 10 月 19 日
3. 富吉満之*・西川芳昭・金氣興・李柱炅・久野秀二、「韓国における種子管理に係る諸組織の機能に関する一考察」、地域農林経済学会大会：大阪経済大学、2012 年 10 月 21 日
4. Msuya E. E.*, Hisano S., and Nariu T., 'An Investigation into Agricultural Commercialization Constraints facing Smallholder Farmers in Tanzania'. 日本農業経済学会 2009 年度大会個別報告：筑波大学、2009 年 3 月
5. Altoé S. M.* and Hisano S., 'An Institutional Local Alternative for Small Family Farmers in Rio Grande do Sul, Brazil: A New Approach based on a Rural Extension Programme'. 日本農業経済学会ポスター報告：日本大学生物資源科学部、2004 年 3 月
6. 久野秀二「国産大豆の需給動向と生消提携の新展開 — 大豆畑トラスト運動を事例に」、日本農業経済学会 1999 年度大会個別報告：酪農学園大学、1999 年 7 月
7. 久野秀二「コメ種子市場におけるアグリビジネスの事業展開」、日本農業市場学会秋季研究例会個別報告：広島大学生物生産学部、1998 年 10 月
8. 久野秀二「わが国における野菜種苗生産・流通の構造と展開」、日本農業市場学会秋季研究例会個別報告：大阪府立大学、1997 年 11 月
9. 久野秀二「米国農薬産業と環境規制 — 「環境保全型農業」包摂型の新事業展開をめぐる」、土地制度史学会秋季学術大会自由論題：北海道大学、1996 年 10 月

10. 久野秀二「多国籍企業による種子支配とバイオテクノロジー」、土地制度史学会秋季学術大会自由論題：九州大学、1993年10月

M. その他の研究報告・講演

1. 久野秀二「食の多面的機能からアプローチする食農政策転換の試み — 欧州諸都市の経験に学ぶ」、農業・農協問題研究所京都府支部学習会、京都市、2024年11月16日。
2. 久野秀二「アグロエコロジーと世界の流れ — 理念と実践をめぐるポリティクス」、農業・農協問題研究所京都府支部学習会、京都市、2023年11月25日。
3. 久野秀二「持続可能な食農システムへの転換 — 都市の総合的食政策に向けた欧州の挑戦から何を学ぶか」、第4回公開研究会「地域圏フードシステムの構築をめざして」（一般社団法人フードシステム研究所・京都）、オンライン、2021年7月14日。
4. 久野秀二「オランダ農業の経験から学ぶ — フードバレー構想の現実と多面的機能を活かした農業の可能性」、農業・農協問題研究会京都府支部研究会「日本農業の将来をめぐる二つの道：輸出指向型農業か、多面的機能を活かした持続可能な農業か」、京都市、2019年11月2日
5. 久野秀二「農業のありかた、消費者・市民の関わり方を考える — オランダ農業の経験から」、たねと食とひと@フォーラム 2019年度総会記念講演会、明治大学：東京、2019年6月29日
6. 久野秀二「主要農作物種子法廃止問題と私たちの食と農」、伊丹市中央公民館市民講座、伊丹市：兵庫県、2018年8月18日
7. 久野秀二「種子法廃止後のたねのゆくえ — 食料主権と地域の農業・食料・生活を守る視点」、たねと食とひと@フォーラム 2018年度総会記念シンポジウム、明治大学：東京、2018年6月23日
8. 久野秀二「大義なき主要農作物種子法の廃止 — 日本の農と食はどうなるのか?」、新日本婦人の会京都府本部・緊急学習会：京都市内、2017年4月20日
9. 久野秀二「大義なき主要農作物種子法の廃止 — 公的種子事業の役割を改めて考える」、種子を守る会院内集会：衆議院第一議員会館、2017年3月27日
10. 久野秀二「Food Sovereignty から見る日本、日本から見る Food Sovereignty」、FEAST Food Sovereignty Seminar #2：総合地球環境学研究所（京都市）、2017年2月28日
11. 久野秀二「TPPをめぐる多国籍アグリビジネスの動向」、全日農西日本研究集会：京都市、2012年10月28日
12. Hisano, S., 'Global Food Insecurity under Neo-liberal Food Regime and Rising Food Sovereignty Movement', Guest lecture at Konkuk University, Chungju, South Korea, 27 September 2011.
13. 久野秀二「TPPの背景と問題点」、緊急シンポ — TPPと大震災で日本の食と農は大丈夫か：神戸市、2011年5月29日
14. 久野秀二「TPPの背景と問題点 — 国民の暮らしと農業に及ぼす影響」、農業農協問題研究所・京都府支部研究会：京都市、2011年2月5日
15. 久野秀二「世界食料危機の構造と国際社会の対応」、芦屋市公民館「芦屋川カレッジ」：芦屋市、2010年10月13日
16. 久野秀二「世界の食料危機と打開の方向」、農業農協問題研究所・全国研究例会：東京都、2008

年 8 月 30 日

17. 久野秀二「食料危機に直面する世界と日本」、芦屋市公民館「芦屋川カレッジ」：芦屋市、2008 年 8 月 23 日
18. 久野秀二「日本の農業と食料を考える」、大学生協京都事業連 ― 食の安定・安全・安心を考えるシンポジウム：京都大学、2008 年 6 月 14 日
19. 久野秀二「倫理的省察は科学と社会を架橋しうるか ― 農業バイオテクノロジーの場合」、大阪大学 CSCD サイエンスカフェ@オレンジショップ、2008 年 6 月 4 日
20. 久野秀二「農業技術開発の現状と食の安全・安心」、第 32 回「食糧の生産と消費を考える」シンポジウム（食糧の生産と消費を結ぶ研究会）：筑波、2006 年 3 月 18 日
21. 久野秀二「遺伝子組換え作物をめぐる情勢と社会への影響」、遺伝子組換え作物に関するシンポジウム（北海道農政部）：札幌、2006 年 3 月 5 日
22. 久野秀二「遺伝子組換え作物と世界の農業・食料」、第 8 回岐阜シンポジウム「食の安全」：岐阜市、2005 年 6 月 11 日
23. 久野秀二「遺伝子組換え作物を考える視点」、北海道有機農業研究会：札幌市、2005 年 1 月 23 日
24. 久野秀二「技術開発と農業支配」、食糧の生産と消費を結ぶ会 2001 年大会：明治大学、2001 年 3 月 23 日
25. 久野秀二「日本におけるイネ育種事業とイネゲノム・プロジェクトの動向」、遺伝子組換え作物・食品を考える世界市民サミット：東京都、2000 年 7 月 15 日
26. 久野秀二「遺伝子組み換え作物をめぐる社会経済的問題」、1999 北海道科学シンポジウム（日本科学者会議北海道支部）：札幌市、1999 年 11 月 28 日
27. 久野秀二「多国籍企業の種子支配について」、大豆畑トラスト運動全国交流集会分科会：山形県新庄市、1998 年 2 月 14 日
28. 久野秀二「種子を支配する多国籍企業」、市民フォーラム 2001 春の連続講座：東京都、1998 年 6 月 25 日
29. 久野秀二「食品産業をとりまく国内外の情勢」、食品同友会セミナー：札幌市、1998 年 5 月 19 日
30. 久野秀二「WTO 体制と多国籍アグリビジネス」、北海道大学教育学部公開講座：端野町、1997 年 8 月 28 日
31. 久野秀二「遺伝子組み換え技術とその背景」、遺伝子組み換え食品問題シンポジウム（新婦人北海道・農民連北海道）：札幌市、1997 年 3 月 22 日
32. 久野秀二「社会科学はゴミ問題をいかに考えているか・考えるべきか」、1996 北海道科学シンポジウム（日本科学者会議北海道支部）：北海道大学、1996 年 12 月 14 日

N. 学術奨励金・競争的外部資金

1. 2023-2025 年度：欧州諸都市における地域食政策ガバナンス構築の政治過程に関する研究（科学研究費補助金・基盤研究(C)、研究代表者：久野秀二）

2. 2021-2025 年度：ローカルから食農システムの再生をめざす比較社会・政策研究：コロナ後を見据えて（科学研究費補助金・基盤研究(A)一般、研究分担、研究代表者：秋津元輝）
3. 2020-2022 年度：オランダにおける地域食農政策の展開と食料市民の形成に関する研究（科学研究費補助金・基盤研究(C)、研究代表者：久野秀二）
4. 2016-2018 年度：オランダ農業モデルの批判的検証とオルタナティブ・モデルの可能性（科学研究費補助金・基盤研究(C)、研究代表者：久野秀二）
5. 2013-2015 年度：アグリフードレジーム再編下における海外農業投資と投資国責任に関する国際比較研究（科学研究費補助金・基盤研究(B)、研究代表者：久野秀二）
6. 2011 年度：国連「食料への権利」論と多国籍企業規制の課題（公益財団法人 村田学術振興財団・研究者海外派遣援助、研究代表者：久野秀二）
7. 2010-2012 年度：国連農業食料ガバナンスと多国籍企業行動規範に関する政治経済学的研究（科学研究費補助金・基盤研究(C)一般、研究代表者：久野秀二）
8. 2006-2008 年度：バイオテクノロジー・ガバナンスにおける専門知の学際化に関する国際比較研究（科学研究費補助金・若手研究(A)、研究代表者：久野秀二）
9. 2007 年度：Tailoring Biotechnologies 京都会議 2007：農業開発に向けたバイオテクノロジーの再構築を考える（財団法人 京都大学教育研究振興財団・学術研究活動推進助成）
10. 2006 年度：農業バイオテクノロジーの学際的リスク評価における倫理的及び政治経済的視点の役割に関する研究（財団法人 学術振興野村基金・国際交流派遣助成、研究代表者：久野秀二）
11. 2005-2007 年度：農業市場の制度問題と分析モデルに関する統合的研究（科学研究費補助金・基盤研究(B)、研究代表者＝岩手大学大学院連合農学研究科・玉真之介教授、研究分担＝農産物市場と多国籍企業の制度問題）
12. 2005-2006 年度：GMO リスク評価における倫理と政治経済（昭和シェル石油環境研究助成財団、一般研究：リスク評価と管理手法、研究代表者：久野秀二）
13. 2002-2004 年度：農業科学技術の研究開発と普及プロセスにおける社会経済的影響要因に関する学際的研究（日本学術振興会海外特別研究助成、研究代表者：久野秀二、オランダ王国・ワーヘニンゲン大学社会科学部）
14. 2001-2002 年度：大豆の生産・流通・消費構造と GMO の影響に関する国際比較研究（科学研究費補助金・奨励研究(A)、研究代表者：久野秀二）
15. 1999-2000 年度：農業バイオテクノロジーの研究普及体制と利害調整過程に関する政治経済学的研究（科学研究費補助金・奨励研究(A)、研究代表者：久野秀二）
16. 1998-1999 年度：Private Corporations and the Future of East Asian Food and Agricultural Systems（トヨタ財団、研究代表者：ワシントン州立大学・レイモンド・ジュソーム Jr.准教授）
17. 1997-1999 年度：価格政策再編下の農産物需給調整の方策に関する主要品目別研究（基盤研究(B)(1)、研究代表者：北海道大学・三島徳三教授）
18. 1996-1998 年度：WTO 体制移行下におけるアグリフードシステムと農政再編に関する国際比較研究（基盤研究(B)(1)、研究代表者：京都大学・中野一新教授）
19. 1996-1998 年度：農産物種子の生産流通構造の実態とバイオテクノロジー研究開発の動向（北海道農産物協会、研究代表者：北海道大学・三島徳三教授）

